

(1) Parkinson病のすくみ足を改善させる方法はどれか (49a - 27)

正解 5

1. 足下を注視する

×: Parkinson病では前傾姿勢を呈しやすいため, 足下を注視すると転倒リスクが高まる

2. 体幹を屈曲する

×: Parkinson病では前傾姿勢を呈しやすいため, 同じく体幹を屈曲すると転倒リスクが高まる

3. 踵を持ち上げる

×: Parkinson病では前傾姿勢を呈しやすいため, 踵を持ち上げると前方に倒れやすく転倒リスクが高まる

4. 一歩目を小さく前に出す

×: Parkinson病では小刻み歩行を呈しやすいため, 誤り

5. 床に引かれた横線をまたぐ

○: 視覚的な刺激によって, すくみ足が改善される.

(2) 60歳の男性。10年前にParkinson病と診断された。日常生活は自立している。すくみ足のため自宅で頻回に転倒するようになった。この患者に対する指導で適切なのはどれか。(48a - 11)

正解 5

1. スリッパを履くように勧める

×: 転倒リスクが高まる

2. 足関節に重錘バンドを装着する

×: 重鎮バンドを装着するのは小脳症状の患者(企図振戦)

3. T字杖歩行を指導する

×: T字杖は歩行の"安定性"を向上させるために用いる.

4. 車椅子での移動を指導する

×: 歩行が可能であるため, 時期尚早

5. 自宅での手すり設置の場所を指導する

○: 転倒リスクを軽減できる

(3) Parkinson病患者で早期に困難となる動作はどれか。ただし、いずれの動作も上肢での代償はないものとする。(47p - 43)

正解 1

1. 寝返り

○: 体幹の屈曲および回旋が困難となるため、寝返りが最初に困難となる。Hoehn & Yahrの分類でStage1～2で困難となると考えられる

以下, すべて×

Hoehn & Yahrの分類でStage3～4で困難となると考えられる

2. 平地歩行

3. 階段の昇り

4. 端座位の保持

5. 椅子からの立ち上がり